
水源禪師法話集 5 0

(2015年9月25日 京都合宿8日目)

2016年8月21日

一乗禪の会



目次

水源禅師法話.....	1
お釈迦様の正法の7つの種を植えることが出来た.....	1
一人一人違うから、一禅ごとのインタビューが必要.....	2
質疑応答.....	4
水源禅師は心随観、法随観で法を受け取っているので、短期間でバンガ以上に.....	4
日本はまだ正法を受け取る生命体.....	5
完全に仏に帰依してこそ、パンニャが発生し、34善心がちゃんと繋がる.....	7
よその国の法を得るという事は非常に難しい事.....	9
心の中での眼耳鼻舌心意の5つの時間、空間の一体化で私達は見ている.....	10
実際法を伝えて、そして体験して初めて証明されるお釈迦様の凄さ.....	11
エクアドル、ビルカバンバでも瞑想会.....	13
ゴエンカ氏のバンガが最高？ いや、あと10段階必要.....	15
一番大切なのは、大きく深い慈悲の心田を耕す事.....	17
セント・テレジアの様に.....	18
「悪魔が水瓶の周りを走っている」.....	19

水源禪師法話

お釈迦様の正法の7つの種を植えることが出来た

長期に渡って今回初めて皆さんに瞑想をして戴きましたけども、意外な事を発見したのです。今の日本には正法の瞑想法を教える人が出ていなかったのですね。ですから8年やった方、14年間やっている方、全て間違っていました。ですからその事によって障害を起こす方もおりますし、それ以上進めるのが難しかったのですね。と言う驚くべき事を発見しました。ただしそのお陰で、お釈迦様の正法の種を植える事が出来ました。文献では正法は植える事が出来ない様に成っています。

つまり皆さんの手ほどきしているうちに、やはり心心伝印の只管打坐の諸法もしっかりと伝わっていなかった様で、一般の方々に伝えるには長い年月が必要なのですね。

今までは、現在においてはただ経典仏教をされているのですけども、瞑想によってしかその意味は確りと解析出来ません。ですから何回も何回も私がここで皆さんに「その経典は違っていますよ」という原因は、本来お釈迦様の正法を受け取れば分かるものを、それをせずしてやっていますので、千年、二千年経っても理解困難という事で、経典から経典では涅槃に達する事が出来ないようになっています。

この短い間で、7人もの正法を受け取る方が出た事は実に嬉しい事です。つまり禅の世界では善知識と言われる7人もの善知識が出た事になります。驚くべき事が発生したわけです。つまりこの日本には心の心田は耕されておりましてけども、それをそこに植える種を持って来た人の時期が合わなかったのか？枯れ果てたのか？それは知りませんが、植える事が出来なかったという驚くべき事が発生していましたので、この素晴らしい伽藍と仏がおりますけども、ダンマ（法）が見当たらないと言う現況です。ダンマ。ブッダ、ダンマ、サンガ。ですから当然サンガは育ちません。幸い素晴らしい先代様達がこの日本に仏国、仏陀を持って来ましたが、今ここでその七つの正法の種を植える事が出来たのは、真に先代の仏国を作られた方々の賜物であると思います。

と言う風に正法は難しい事ではありません。実に簡単な事で、ただそれをやれば良いのですけども、現代社会で明快に受け取って伝える事が出来なかった原因は、やっぱり言語の問題があったのだと思います。つまり本人が英語で言われている先生の話と、この日本でそれを通訳してそれを聞いてやった方の修行法は、大いに問題があり違っていたのですね。それで発見したわけです。

仏法に対してと言う事で、幸い正法を受け取る方々が出て来ましたのでとても仏に感謝しております。他宗教の法は分かりません。インドのヨガの先生とか沢山来ていますから。でも本源を辿れば実は仏の教えなのです。つまり今から千年前イスラムが来た時、お坊さんであればすぐ首を跳ねられて死ぬので、その時ヨギの形になって在

家になって髪を伸ばして、ヨガの手法をやっていたようです。それで四百年隠れながらそれをやって上がって来たのが、今インドに伝わるヨガの先生方で、非常に仏教の究極の真理と似ています。

お釈迦様が残したサティパッターナ（念処経、四念処経）。カーヤヌパッサナー（身随観）、ヴェーダナーヌパッサナー（受随観）、チッタヌパッサナー（心随観）、ダンマヌパッサナー（法随観）。これはこのたった四つの方法以外にお釈迦様は涅槃に達する事が出来ないと述べておられます。これはお釈迦様の仏の教えです。究極の無量永劫の彼方から無量の仏達が教え守ってきた方法はこの四つしかないのです。八万四千の法門の中で、最も大切なのはこの四つの法門だけです。実際に涅槃に行ける方法です。で明快にこの四つの方法で実に深い真理を垣間見ることが出来ます。難しい事ではありません。

一人一人違うから、一禅ごとのインタビューが必要

と言う事で、今回は長期に渡って一つ一つ細かい所まで見ていく事が出来たので、その方達は別として、細かい所まで呼吸法を教える事が出来なかったと思うのですが、そういう方はまず四つの法門に行く前に、一番大切な事は丹田の呼吸方法をしっかりやって下さい。と言うのは、ヴェーダナーヌパッサナーでやって来ましたが、途中で壊れるのですね。それで丹田に戻してからやれば、また上手くできます。という風に私は自動車のインストラクターみたいなもので、皆さんの運転方法を教えるという事が出来るのは体験しているからです。こうすれば良いああすれば良いと。でまた一人一人違います。

で大体の先生は一緒に教えて、体形で教えて、一日一回のインタビュー。これは教えるに無理があります。ですから私の場合は一禅一禅、昼でもやった後でも何回インタビューしたか分かりませんが、その度に直していきました。それくらい微妙なものです。ですから、一日一回のインタビュー、それで決まりきった型でやっているという事は、短い期間で瞑想を伝授するのに無理があります。つまり座る大会だったわけです。ただ如何にして座るか。これは全くお釈迦様の教えとは関係ありません。お釈迦様はもちろん結跏で成道されましたけども、座る事よりも法を得る事の方がとても大切なのです。それから体の状態によりますので、ただ後は如何に自分の体に合せて、長時間座れるか、それはあなた方個人の生活体系によります。

一番大切な事は何よりも法を掴むという事、正法を掴むという事です。その正法を掴むというのはまず正法の呼吸法、そのやり方の過程があります。その過程をしっかりと掴んだ時にもう最初のダンマ、正法を受け取ったと。後はそれをずーっとやっていけば涅槃に達します。そんなに難しい事じゃないのです。でも最初から違っているからとても難しい道を選んだ事になります。いくらやっても出来ないの、そのうちやめます。それで皆さんが経典に走るのですけども、経典に走った場合は、経典を読んで

涅槃に達した方は未だにこの世に出た事はありません。

まずおさらいですが、前の合宿に来た方はもうそのまま続行して貰って、私の言葉に惑わされない様に。しっかりともう呼吸出来ていますので、そのままして下さい。それから、また丹田呼吸の方から始めたいと思います。丹田と基礎のアナパナですね。アナパナ。で、その中でそれ以上に昨年私が手ほどきした方は、この一禅の後すぐにインタビューに来て、もう一回確認したいと思います。どういう風にしたのかと言う事で早急に修正していきたいと思います。

それでは何回も言います。丹田の仕方、つまりお腹で呼吸して膨らみます。で吐くと。でこの時に、まず大きく風船の様に膨らました時に肛門をキュッと締めて大体五つ数えます。1、2、3、4、5。そして空気をゆっくり出します。これを5回。これをするのは第二チャクラの力を非常に高め、つまりクンダリーニに影響を与えますので、非常に安定します。その後は丹田呼吸というのは、出来るだけ丹田に近い所を膨らまし、そして縮めます。ゆっくりと。でこういう風に腹式呼吸を24時間出来れば、もう本当に安定しますのでもう考える事はありません。これだけで平安になります。

その時に、丹田呼吸をやる場合は、人によって風の、風、水、火、土。風が強く溜まる事があります。その時には頭の方につかえますから、そこから頭のとっぺんに空けたという事をイメージしてそこからスーッと気を出せば消えます。でなければ、頭の方にプレッシャーが掛かった時は、圧力掛かった時は、もうそこでストップして、ただ丹田呼吸をやめて、腹式呼吸の方にしてただ頭を空っぽにしてやって下さい。分かりました？大体。それです。そういう状況が起こった人はすぐインタビューに来て下さい。

それから次、丹田呼吸をまあ十分やったと思われる方は、つまりアナパナ。鼻からやって鼻から出すという所を見て下さい。空気が入っている、空気が出ていると。ただ実は本当にこれだけやる事だけでも、実はどんな難病でも消え去るはずなのです。その時にただ機械的にやるのではなく、心から仏に帰依しているという条件が必要です。と言うのは究極のこの世界は、実は仏が作っているものですから。仏を入れた時に間違っただけが理解している所を仏が治してくれます。と言う事ですから、あと何か質問ありますか？

【参加者】

新しい方でご質問、座り方とか分からない方、大丈夫でしょうか？

【水源師】

今までの様にして全然問題がなければ、それで結構です。そのまま続行して下さい。

質疑応答

【水源師】

皆さん、ご苦労様です。もう皆さん本当によく頑張ってくれまして、本当に感謝致します。今回はとうとう正法の種を植える事が出来まして、そしてちゃんと芽を出してくれましたので、とても嬉しいです。日本は今大きく心が揺れていますけども、正法のダンマ（法）がこの仏国日本にいよいよ入りましたので、これからは大きく日本もだんだん安定して行くと思います。

仏、法、僧と言ってね、結局、僧というのは法を持つ人ですから、ダンマが人間の体で入って行きますから。ま、そう言う事で今日は私が何か題材で話すよりも、皆さんが本当に何か知りたいという事で、リクエスト形式で進めたらどうでしょうか？

【参加者】

是非聞きたいという方はまず。

【水源師】

何でも良いです。

水源禪師は心随観、法随観で法を受け取っているのに、短期間でバンガ以上に

【参加者】

私はゴエンカ式の瞑想法で修行しているのですが、先生も一回ゴエンカ氏の10日間コースって法話集に書いてあったのですが、いきなりバンガまで到達されてアシスタントティーチャーからは「もうゴエンカ氏に直接聞いて下さい」って言われたっておっしゃっていましたがけれども、バンガまで行ってその先というか、ゴエンカ師に何を聞けば良かったと言うか？

【水源師】

私の場合はですね、ゴエンカの瞑想法では今まで私の様に行を達した人が出た事がないみたいです。そういう風に非常に短期間で数日で。それで是非80歳になる瞑想を非常によく指導されている方がですね、もちろんスリランカの軍人達も教えますし、相当の経験がある方で、私に「是非ゴエンカさんに会って下さい」と。「話して下さい」と。まあそう言う事ですけども、私も旅の途中でそうなったのでちょっとまあ遠慮しましたがけども。

何故そうなったかと言えば、その前にチッタヌパッサナー（心随観）の禅法で私の恩師から法を受け取って、その後パオの僧院で法随観、ダンマヌパッサナーを伝授して頂きましたので、それで非常に短期間でバンガ以上にサンカーラ・ウペッカ（行捨）と全教程を垣間見ました。ただ現象としてはヴェーダナーヌパッサナー（受随観）の過程を、全部体験をしてしまう。

だからそういう体験なくしてやった場合には、それを指導する教本もないし、そして又、する体験された方もいないようですね。いると言っても、何か「アメリカ人で一人いる」とか言っていますけれども、それがどういう風にしてそうなったか分かりませんけれども。

結局パオの方ではチェックを受けます。私一人が「最低のエリアのその過程を通過した」と言っても、その後で大体20人くらいの修了した方からいろんな問答で聴かれます。それによって初めて「この人は通過した」と。私の場合は直接150人の前で私の先生と禅問答したわけです。それで「私の解答に答えれば私が居る」と。「私の解答に答えなければ、私はここを去る」と。と言う事は私が解答を持っています、という事で。それでもうみんな分かったわけです。

だから禅問答というのは一瞬で私の教えてくれたパオの恩師は「三日、時間くれ」と。「じゃ私は去ります」と。だからその禅問答というのは、命を懸けます。三回目に会った時は、私の先生が結局こう言いました。「あなたは3時間半のニミッタで教えていますか？」と。「まだ未だにそういう力を持った人はいないから教えていません。」と。で先生が「私のダンマの法話を受け取って下さい」と。と言う事で完全に認可と言う事ですね。

だからそう簡単じゃないですよ。だからそう言う事で、そういう体験者同士の真剣勝負が必要です。で、だから、そこで分かったのは、お釈迦様が本当に教えたかったのは、八万四千の法門の中でたった四つの法門。カーヤヌパッサナー、身随観。ヴェーダナーヌパッサナー、受随観。チッタヌパッサナーの心随観、禅ですね。で、ダンマヌパッサナーの法随観。でそこに書かれているお経と、私の体験と全く一致していました。

日本はまだ正法を受け取る生命体

と言う事でお釈迦様は本当に宇宙の叡智をこの悪世の真つ暗き世の中にどれだけ苦勞して持って来たかと。何故かと言ったら、仏が生まれるのは人間の寿命体で百年以下では生まれられないわけです。仏が生まれるのは、人間の寿命体が百年から十万年の間にしか生まれられないわけです。だから私達は人間の寿命体がたった百年で「千年、二千年」とまあ、そう言ったらもう何かおかしく思うでしょう？でも聖書にはノアは千年の寿命体と明快に書いていますでしょう？それから私も出会ったミャンマーのバガンにいるお坊さんは今1062歳になっているはずですよ。

と言う風に非常にここが問題なのです。仏教の人が、人間の寿命体が無限の時間

帯に上ってまた下がるのか。こう満月になって下がり、下がり、下がり、百万年、五十万年、十万年単位になったら今度は仏が出て来ると。経典に書かれているわけです。その最低の時間帯は、人間の寿命が十年。それからまたどんどん上がって行くわけです。だからこれからドンドン平均寿命は下がって行くわけ。日本はちょうど今平均寿命が80くらいでしょう？だからまだ正法を受け取る生命体なわけです。ある国に行ったら、ボリビアは平均寿命が52歳です。こういう生命体では正法を受け取る力がないわけです。だから法を受け取るといっても、お釈迦様の時代より今2500年経っていますけども、幸い日本の平均寿命が女性の方は80歳以上でしょう？と言うまだチャンスがあるわけです。でも戦後ね、大体平均寿命は50歳でしたでしょう？その時は、法は受け取れないはず。それで全部消滅したかも分からないです。



完全に仏に帰依してこそ、パンニャが発生し、34善心がちゃんと繋がる

だから今回非常に良かったのは、ゴエンカさんに行っている方が数名居りまして、全て違った手法で教えられていたのですね。ゴエンカさん自身は全く違う方法で教えていましたよ。それで私はヴェーダナーヌパッサナーをやっていたわけです。

と言うのは、言語の問題なのか、分からないから自分で解釈してマニュアルブックがインストラクションをやっているのか。こういう事をやっても良いという風潮でや

っていたら、結局お釈迦様の正法はね、1、2、3、4と階段外して教えられないのですよ。必ずステップがあるわけです。数学もね、こうずーっと高等数学になっていけばね、例えばカンニングして友達の解答を見たり、その時は点数貰って通過するかもしれませんが、後でね、そこを勉強しないから、必ずやまた階段落ちて落第します。

だから人生もまた一緒にね、一つ一つ階段踏んで行けばすんなり行くけれども、結局、何か階段を外して特別高い所に地位を任された場合には、大体その会社潰れますね。仏教はもっと厳しくて、ちゃんとした階段を一つ一つ通過して初めてその法を受け取る事が出来ますけれども、経典仏教に書いている様にそんな難しい事じゃないのです。誰でも出来る様になっています。特に阿弥陀の国に行くにはとっても簡単でね、浄土禅（念仏三昧）をやればいいわけです。勿論真の愛が必要ですけど。

浄土禅の第一条件は、愛を持って絶対的に阿弥陀に帰依して本当に阿弥陀を信じると。信、サダ。ね。それで信じる事によって、心がもういっぱいになり阿弥陀様になるのをサチと言います。法を学ぶ時も、帰依。仏教に対する帰依によって心を完全にクリアになる、マインドフルネス、サティ、念ですね。それによってパニャ（智慧）が発生します。ですから、愛なくしては仏の教になりません。

このアビダンマのサンカーラ（行）は、非常に重要なポイントで、これを私がパオのウ・レワタバンテに明快に説明した時に、先生が「私のダンマを聞いて下さい」と言いました。これは2500年変わる事のないとっても重要なポイントで、結局有名なチベットの死の書と言うのがあります。その中でリンポチェ、1920年代のリンポチェ、現代じゃないですよ。その時はもっと行が凄いな方ばかりだと思います。その人の解答は、この死の書は、結局「サダ、サティをしっかりと持たなければ、この本は無用の物である」と明快に言っているわけです。一緒なわけです。愛を持って、完全に仏に帰依してこそ、これによって仏の世界を受け入れる事が出来るから、次の世は良い所に行けますというパニャが発生するわけです。だからサダ、サティ、パニャ、この三つは、この三つを得るが為に、法随観という非常に難しいサンカーラ、行深のサンカーラから心を観る行から物質から、それから過去生を観て行って、最終的にはこの三つを完全に受け取って空の世界に入っていくと。だからその証明として、全ての関門を通過した事によって「あなたはサダ、サティ、パニャを持った」と言う事で、それで預流果の位に入りますね。ソタパナ、一番最初。と言う事を明快に説明しなければいけないわけです。

ところが、結局、四界分別とそれから心のナーマをしっかりと分からなければ、こういうポイントが説明出来ないから、大体の仏教経典の解説書は非常に難しく書いています。何故かと言ったら体験していないから。何が本当の帰依か、何が本当の念か、サダ、サティ。それはね、チッタ、心とその中で発生するセタティカ、ずーっとそれを観る事によって明快に分かるわけです。ただ頭の中で「私は仏を信じている」と。「だから完全に帰依して心がスカーツとしていて」と。それだけでは駄目なのです。実際にその時の心の行列を観て、34善心がちゃんと繋がっているかどうか。自分自身が「あ、これで私は完全に間違いなく帰依している」という事が分かるわけです。

よその国の法を得るといふ事は非常に難しい事

と、そういう検証が必要なわけなのです。でなければ狂信を起こすわけです。妄信というか、狂信と言う、今イスラムの IS、IS というのは、神の教えに反して神の名を使って人を殺すでしょう？神が創った人間の生命体を神の名によって殺すと、完全に矛盾していますね。ただ自分の独善的な考えで、神を創り上げ、自分の独善的な考えで法律を作って殺すという事。力によって。と言う魔に変身してしまうわけです。

だから仏は厳しく「この点を検証しなさい」と言っているわけです。問答も、禅問答も非常に大切ですし、そしてまた自分の心を観る事も大切と。でこれで法を得る事によって、皆さんに本当の事を教える事が出来ます。これを外して誰かから教わったから、その通り教えているからこれは正しいと。でもそういう事をして教わった事が本当じゃない事であったり、誤解して解釈したり、もしそれを人に教えたら大変な事になります。つまりは法を持たずして、仏の教えを知っている事は大きく間違いがありますので、正式な僧院で全教科を経て、認可してもらうことが必要です。

今回はっきり分かったけども、一番最初の出だしが違うわけですね。という事は全く大変な事をしていきますね、そのまま信じきってやって、もし教壇に上がって教わったその通りを教えたら、将来、因果関係の法則であなたが罪を着る事になるわけです。ただあなたはとてもラッキーで私に出会って、日本では「ゴエンカさんがそう言った」と言うけども、本人のビデオでは全く別な事を言っています。であなたは「テーブルコーダーから日本語で聞いた」と。そこに問題があります。

つまり私が何回も言う様に、ゴエンカさんは British Indian English (ブリティッシュ・インディア・イングリッシュ) の方言のビルマの英語なのです。British Indian English の Delhi English じゃないわけ。New Delhi (ニューデリー) の Delhi (デーリー)。分かりますか？British Indian English の Tamiland? (ターミランド) の English。それからスリランカの British Indian English もあるわけです。オーストラリア人とかね、アメリカ人とかね、それから英国の人でも分からないのですよ。そこに長くいて分かるわけです。私の場合は、ビルマ人のロンドンの医学部の教授だから、明快に説明してくれたわけです。で日本からそういう所に行って英語分かって。まず通訳いないわけ。通訳するには体験した人だけが通訳出来るわけです。だからもう支離滅裂、滅茶苦茶が大いにあります。だから日本は何でもありとなります。

その国に行って住めばもう全部分かったと。で日本からトロントに来た回教師という三十何歳の人かね？一年居てカナダの事、全部分かるわけです (笑)。これが日本の現状です。外国に対する物の見方とか、知らないから全部分かるわけです。(笑)

ま、そう言う事だよその国の法を得るといふのは非常に難しい事です。ただ私が日本に生まれ日本に育ったから、こうしてそして外国に 45 年住んで英語の世界で住んで、子供もまた英語で育てているから、ある程度こうしてゴエンカさんの英語が分かってね、そして修行出来たけども。また解説する人もスリランカの British English、

スリランカの方言だから。長い、長い英語の生活によってそれが分かるわけ。それがただ分かったつもりで、とんでもなく誤解しているかも知れないですよ？だから外国に行けば、すぐ外国のそういう修行法が分かると。それは私の見た限り不可能です。言葉も違う、食べ物も違う、それから生活方も違うから殆ど言葉がないわけです。

だから私が日本の映画を英語に訳した場合は、大体40%~50%抜けています。また英語を日本語に訳した場合は、40%くらい最低抜けています。だから特に修行して法を得るといふ時はですね、結局この40%抜けているここをどういう風にして解決するかという大きな問題があるわけです。サイエンス、テクノロジーでも大変な苦勞しますよ。でサイエンスとかテクノロジーになればね、大体数字とか物質とかそういう事でまだギャップが縮まるけどもね。こういう哲学とか宗教になれば、殆ど全く別世界の別な思考体であるから、非常に誤解が発生しやすいと思います。

心の中での眼耳鼻舌心意の5つの時間、空間の一体化で私達は見ている

普通の人にはですね、大体平面思考なのです。右手平面思考、そして左手を使う人は左手平面思考でいくから、全く別の見方になるわけ。左手、右手同時に使える人は、三次元の空間的思考に入るわけです。だからお釈迦様の教えはですね、三次元の空間思考ではないのですよ。五次元思考でやっているわけです。五次元思考。

その証拠にね、目あるでしょう？目は目の時間と空間があるわけです、心の中に。味は味の時間と空間が心の中にあります。匂いのこの鼻は、匂いの時間と空間が心の空間の中にありで、感触あるでしょう？感触の時間と空間体が心の中にあるわけです。でまた耳があるでしょう？耳の聞こえる空間体と時間体も心の中にあります。五つの時空が一つになって心の中にあるわけ。で一体化して私達は見ているわけです。

でその時間が動けば、もう四次元の次界だから、もう夢の様に物が変わって行くでしょう？私が50年前の日本と今の日本は全くの別世界。思考も全く別世界。これが、今度五次元の世界になれば、この手に大宇宙を入れられるわけです。無量の宇宙を手の中に入れられます。だからもう人間的思考でお釈迦様を解析すると言ふ事は、はっきり言って愚の骨頂。理解不能なのでそんな事をするわけです。

だから日本からトロントに来た仏教の回教師が、一年でみんな分かっているわけですね。英語も分からないのに。だけどみんなカナダの事分かるわけです。でこの人が日本に帰って来て「カナダに住んで、ベラベラ」と言つて、カナダ知っていると。皆「あ、そうですかと信じたら」怖い事ですね。だからこういう風に皆さんが苦しむわけですよ。誰を信じて良いのか、どうしたら良いのか分からないわけです。

でこの中でさっき言ったように、一切の解答は森の中のもう数え切れない葉の数の法門の中でたった四つの葉。心随観、受随観、身随観、法随観、この四つ。四つの葉っぱだけで全て通過出来ると。でその中のヴェーダナーヌパッサナー（受随観）をゴエンカさんが教えているけれども、話を聞いたら最初から違っている。一人一人違うし、や

り方もゴエンカさん本人が言っている事の大事なところが抜けていました。でこれが何年続いているか分からないけれど。どれくらいの人がそこで教わったかも分かりません。ただ名前だけはゴエンカという事で長時間座ったと。それは良いですよ。結跏とか半跏でそれは素晴らしい事で、それは無駄にはならないけれども、そこで本当の法を得なければ、何年やっても思うように進まないと思います。実際にスペインの方が二十四年間インドのゴエンカ氏の所で修行しましたが、出来ないのでミャンマーの仏教を基本から学んでいますと、パオの僧院でお話ししてくれました。たぶん宗教的文化的の違いで、心に受け取れない、理解不能な教えがあったのではと思いました。

実際法を伝えて、そして体験して初めて証明されるお釈迦様の凄さ

で今回、無事に法を渡す事が出来て、やっぱり結果は出していますね。まさにお釈迦様の言ったお経があるのです。私がね、あなたに教えた法はね、お釈迦様が明快に言った法がこの本に書かれているわけです。だからあなたが世にも不思議な体験をしたでしょう？日本ではあなたが初めてかと思います。日本ではあなたがこの国始まって以来初めて。何故かと言ったら、日本では誰もその事書いた人いないでしょう？私から初めて聞いたでしょう？この南伝經典に書かれています。

何ページに書いているかな？どこだったか、あるのですよ。ちょっと待ってね。正確なお経を読みますから。私があなたに教えたのはね、マハ・クンダ・テラ・ボディハンガースッタと言う中に書かれてあるわけですよ。その時にね、お釈迦様がラジギールに住んでいた時に大変な病気したわけです。それでマハ・クンダ・テラが、お釈迦様の所に行って「どうされたのですか？」と聞いたわけです。そしてお釈迦様にこう言ったわけです。「お釈迦様、あなたは悟りに至る七つの法を確かめてみましたか？」と。この事は東京の法話会で言った事があるのです。「はい、確かめました」とお釈迦様が言った。「じゃお釈迦様、あなたはそれを離れて近くで観ましたか」と。そしてお釈迦様が「はい、観ました」と。「お釈迦様、あなたは遠くから離れてそれを観ましたか」「はい、観ました」と、それをあなたは体験をしたわけです。で御釈迦様は完全に完治したわけです。

と言う風に何も秘密じゃないのだけでも、結局法を確りと伝える人がいなかったから理解できなかったのと思いますが、今までに日本には、南伝の人もいっぱい来いますよ。でも未だに誰も言っていなかったでしょう？だから姿形で皆さんが判断するわけですよ。この人は40年、この人は30年、嘘を付かずに非常に真面目で立派だと。でも法を持っているか持っていないかは、実際に法を伝えて初めてこの人が証明されるわけです。だからいくらあなたが誰かが「素晴らしい、素晴らしい」と喜んでお奉りしても、法を受け取らなければね、それこそそういう事は愚の骨頂であり、道化師が踊っているのと同じです。このことをゴエンカ氏が明快に御話しておられました。「私が死んだ後で、偶像を作り踊らないでください」と、話していました。で、あなたが体験し

た事によって、この経典が間違いないと再確認することが出来ました。本当に嘘偽りがないのですよ。お釈迦様の言っている事は。それを解読出来ないのは、法を持たずに理解しようとするからだと思います。

だからこんな素晴らしい事があるのに、誰でも読める本です。だから私が昨年言ったでしょう？「どんな病気でも治してあげます」と。あなたはどんなにお金出しても、今の様に医学で完治出来ますか？出来ないでしょう？何億何十億出したって出来ないでしょう？でもたったあなたが十日間の努力で、十日も掛からない、七日で完治しているでしょう？これを悟りと言います。本当に修行した人は七日以内に法を得ると。この事。あなたは何日間通いましたか？ゴエンカさんの所。

【参加者】

十日。

【水源師】

で、法を得ましたか？

【参加者】

ああ、分からないです。

【水源師】

何故かと言ったら、最初の呼吸が違っていたでしょう？この方は七日で完全に行を達したわけです。だから法というのは、そんなに難しい事じゃないのです。法を持った人から受け取ればこういう結果になります。つまり法と言うのは、法の種、を心田と言って心が耕された所にやればスッと出て来ると。でその法の種もね、心田の田が耕されてなかったら、この種はなかなか咲かないです。でもそこにあるわけ。いつの日にか咲きます。と言うのは、人から物を盗むとか、騙すとか。その時にはこの法の芽は出ません。ただこの種はその中に絶対に消えないでいつまでもあります。でその人が良い事ばかりして時期が来た時に、その芽が出る様になります。

という仏法の法の種と言うのは永劫不滅のもので、永遠なものなのです。何故かと言ったらね、この世でね、死ぬ人は一人もいない。肉体は滅びるけど、死に到る人は一人もいないわけ。すぐに輪廻転生して天界に行くか、人間界に行くか、動物界に行くか、餓鬼界、霊界に行くかと言うだけであって、死と言う事は一つもないわけです。ただ皆さんが恐れるのは、法を持たずが故に、明るきより暗き世に行くという。恐ろしい所に行くチャンスが多いです。

だから今ここで皆さんが一心に法を得ればですよ、もう最高です。また法を得ずとしてもそれに心から帰依して修行すれば、明るきより明るきに向かいという結果が出て来ます。だから皆さんが朝から晩まで働いて、それを「世の為、人の為」と言いますが、最高の世の為人の為はね、阿弥陀の国に送る事が出来れば、全然問題ないでしょ

う？またはこういう風にして法を伝えれば、どんな貧乏であれ苦難にあっても、もう未来は決定されて良いのだから、もう苦から抜けてしまうわけでしょう？

エクアドル、ビルカバンバでも瞑想会

確かに老後介護は良いですよ。でも、これも社会病で社会が作った事でしょう？だから私がビルカバンバで家を寄進されたその土地はね、平均寿命が昔 120 歳。長寿の村だったのですよ。でそこに行けばね、病気も治るわけなのですよ。ホテルオータニだったかな？赤坂にある。ニューオータニ。そこの弟さんがね、心臓の病で絶対に死ぬと宣告されて、1980 年代にそこに行ったら、ただそこに住むだけで心臓病が無くなったわけです。その当時の医学では解決出来ない。それで大谷孝吉さんと言う人がね、その村に病院一つ寄付したわけです。

という風に、太古のその文明は未だに躍動しているわけです。そういう不思議な場所は、世界の大金持ちが豪邸を建てて住んでいるわけです。という事すら一般の人は知らないでしょう？私はエクアドルの神に呼ばれて、その事を発見したわけです。何故か。何故呼ばれたかと言ったら、そこには瞑想センターがあるのですよ。でも教える先生がいないわけです。何をするかと言ったら、その大金持ち達が、瞑想なのですよ。で、でも本当の法を持った人がもちろん日本でも難しくて少ない、そこで何故か私がその神さんに呼ばれて行ったら、結局ウォールストリートで財をなした人が「この地球上で最も尊い土地を使って下さい」と。「アマゾンの源流のここからでる水は、世界最高の水なのです」と。「その土地 500 町歩、あなたが自由に使って下さい」と。と言う風に「私にここに来て下さい」と言うわけです。

でもね、そう言ったって私、日本にも来なきゃいけないでしょう？でもうちちょっと肩が下りてね、法を持つ人を作ったもので、少し楽になっていますけれど。だからその人は「一体何時までそんな旅行しますか？」と「いい加減にしてここに来て下さい」と言うわけです。でも彼もね、そういう大金持ちでありながら、何故か禅を勉強しているわけです。独学してずーっと。働いているから忙しくて先生に出会う機会がないわけ、で私に出会って、ほんの数時間ですよ。もうすぐ分かったわけです。

だからたった 5 回の瞑想会でトータルで 100 名以上来ているわけ。二週間半の間に。だからそれだけ凝縮されているわけ。もうそういう人達はね、本当の真理を知りたくてそこに住んでいるわけです。そこはとても神秘的な町だから、そう思って来ているけれども、そこに行ってもやっぱり法はないから、自分達で一生懸命彼らなりの方法の瞑想していたのです。で、私がそこに現れてもう大変な噂になっているわけです。で今でももう待っているわけ。「早く帰って来てくれ」と。「あなたが来たらもう全部チラシを出して、ここら辺の人集める」と言っていました。まだ他のアメリカ人の大金持ちがそのセンター作ったのですけども「自由に使って下さい」と。天界の力によってセッティングがもうそこに全てあるわけですね。

だから法を得るという事は、非常にこの地球上での最高の事であり、宇宙での最高の事だから、なかなか出会えないという事です。金では買えない、地位名誉でも買えない。どれだけの人生を経て出会えるかどうかと。だから金剛般若心経には「恒河紗の如く、命を全身供養しても法は得られず」と。恒河紗と言うのはね、10の60乗。60、ゼロゼロ。想像を絶する数の命を捨てても、これはお釈迦様の言葉、そう言われています。だから今こうして本当の法に出会えば、こういう夢の様な体験、でしょう？だからあなたが過去無量永劫の時空を経て、こういう貴方の因縁、高德によってこの法をあなたに伝える事が出来たわけ。でここで一つ完全に種を植えたから、ここからまた種が花咲いて行くでしょうね。次から次と。でこの方だけじゃなく、また6人も法をちゃんと受け取って、あとはそれをやれば同じ結果になります。これであなたは、生死を越えた方となるわけです。言ったでしょう？道場で「私もうここで死んでも笑って死ねる」と。あなたもまた一緒です。

ま、そういう事で皆さん本当によく努力してくれました。今回はまた素晴らしい方ばかり集まって、今回もまた素晴らしい方集まってくれて、やっぱりこれは仏のご加護ですね。私がこう言うのはおかしいのですけれども、こういう風に。でも本当に仏のご加護だと思えますよ。それだけ皆さんは凄い高德を過去に無量永劫の時間を経てここに来てやっているわけです。それくらい法に出会うには難しくて、この仏国日本でも数える人しかここに来られなかったわけ。と言うもう最高のご褒美を今貰っているわけなのですけど。

ま、そういう事であなたの解答に殆ど全部答えたと思えますけれど。何故あなたが勉強しなければいけないか。何を求めているのかと言う事まで。じゃもうちょっと時間ありますので。



ゴエンカ氏のバンガが最高？ いや、あと10段階必要

【参加者】

あと彼の質問で、ゴエンカ氏のバンガが最高だと思っていると思うのですが。

【水源師】

いやいや、あれはただ16のパンニャの段階の大体5。あと10段階必要です。その10段階達する方法をゴエンカ氏の本に書いてありましたか？

【参加者】

いや、書いていません。

【水源師】

そうでしょうか？だから、ダンマヌパッサナーをやれば通過出来るけど、書いてないのでどうしてあなた勉強出来ますか？でそこでアメリカの人が、結局ソタパナに達したと言う。そしたらその人が明快にロードマップを書かなきゃいけないわけです。ゴ

エンカさんの中でも、無いわけですね。見た事もないでしょう？ゴエンカさん自身もサンカーラ・ウペッカ（行捨）の後は、次はニッバーナ（涅槃）になるから。そこに到達する過程の事は一つもないわけ。バンガまではやり方書いています。繰り返し。その後の事は、サンカーラ・ウペッカ、ニッバーナ、それでおしまい。二行だけ。じゃあ、どう言う風にしたら良いか一つも書いていないわけです。

それにダンマヌパッサナーの場合は、結局、四界分別でも、事細かに手法があり、本にすればこれくらい分厚くなるわけです。だからそれをやったお陰で、心がもう全部分かっているからスーッと通過して行くわけです。アビダンマのメモリーじゃなく実態体験をするから。その実態体験をしたそのバイブレーションであなたを指導したから、あなたはとそこまで行ったわけです。で私に分かっていなかったらね、絶対そういう体験出来ないと思います。

と言う事で私も証明されたし、あなたも非常に素晴らしい体験して、自信を持って今度人に指導出来るでしょう？それもたった七日。一生の内ですらたった七日真剣にやればここまで来るわけです。ま、それまでの過程がありますけど。

でもね、遊ぶ事には一生かけて遊ぶわけ。レジャーレジャーで外国旅行。そういうものはね、夢の如しで、意味もないわけです。パーティー、ダンスパーティーとか飲み会とか、ね。それは楽しいですよ。子供がジャンプするみたいに。でもその結果は何にもないわけです。それに費やす、一生の内に何年費やすでしょうか？十年か、二十年、遊びばかりじゃないですか？よく考えたら。たった七日でここまで来られた。

もっと凄いのは、チッタヌパッサナー（心随観）の場合はね、一秒要らないのですよ。通過するのに、一秒要らない。だから誰でもその法門に出会えば、一瞬にして分かるわけ。百年要らない、一秒で、一秒以下の時間で分かる。それも法を得た人から受け取って、その心田を耕していかなきゃいけないから時間は掛かるけど。その心田がちゃんと栄養が肥えて肥やしやったら、その種がプッと咲いた時に悟りとよく言うでしょう？「分かった！」と。その事です。

涅槃と言う事はね、ちゃんと書いていますよ、經典に。どういう事かと言ったらね、蠟燭があるでしょう？火があるでしょう？フッと吹き消すでしょう？その事だけでも、それは体験にして全く違う現象が心の中で起こるわけです。

だからミズーリーのアメリカ人がね、40何年か比丘して、シンガポールで仏教を教えているわけですよ。哲学仏教。で問答があって、彼が私にこう言ったわけ。「ニッバーナは分かるのか？」と。「分かるよ」って。「蠟燭を吹き消す事でしょう？」と。「あなた分かりますか？」と。顔が真っ青になった。体験している人だけが、その状況が分かるわけです。それをオウム返しでやったって、彼も分かるよ、この文章は。体験がないから顔が真っ青になったわけ。と言う事は「法を持たずして説法をするのは仏を殺す」と言う、現実を目の前にして顔が真っ青になったわけです。もうバイブレーションが違うわけです。私が何を言っているか分かるわけです。その人は、40年も經典をやって人にいっぱいパチパチの説法をしているから、私の言っていることを理解したようです。

で私は勉強は嫌いでね、山を走って小川で魚を捕ったり、ちっちゃい時は。もうラン

ドセル投げて。でそういう事は嫌いでも、結局何故かこう言う風に旅させられて、旅させられて、東海道五十三次みたいに善哉童子みたいにさらせて、訪ねる事によって体で分かっていったわけですね。だから法を得るには、体を使って分かる以外にないと思います。

また他にありますか？

【参加者】

何か質問ありますか？他ありますか？大丈夫？

【水源師】

しんとなって（笑）。

一番大切なのは、大きく深い慈悲の心田を耕す事

【参加者】

もう一回良いですか？正法についてなのですか、種を受け取る土壤っていう、耕すにはやっぱり五戒を守ったりとか、地道な努力が必要ですか？

【水源師】

まあ、それももちろん必要ですけども、一番大切な事は愛の水を注ぐ事。愛の肥やしをいっぱい入れる事。でそれでせつせと、それを土をおこして、ていう事は五戒を守るとか、ね。そういう事になります。怠けずに一生懸命土を手入れすると。でつまり、その心田を耕す最も重要なポイントは、愛の水を注ぎ、愛の肥やしを入れて、そしてきめ細かに田の隅々までそれを行き渡らせる様に、鍬を持ってセッセ、セッセとやると。そうして土が肥えて十分にその時期がね、ちょうど春の気候の良い時、太陽が照った時にはスッと出るはず。だから何時種を植えても良いというわけじゃなくて、それまでにちゃんと心の愛の心田を一生懸命耕しておけば、そう言う種がちょうど落ちた時にこう言う事になるわけです。だから心田は誰でも持っているわけなのです。

だから一番大切な事は、人生において如何にして愛の心、慈悲の心を大きく深く、十分に肥やしを入れた心田を作るという事で。それは各々の心が違いますので、これはこうだと言えませんが、自分で探し出して行くしかないですね。まそう言う事ですけど。

【参加者】

滅多にない機会なので、先生も日本にいる機会そう長くないので、あと二日しかないのです。

セント・テレジアの様に

【参加者】

ボランティア活動について何ですけど、何かしたくて時間があれば行った事もあるんですけど、そこの中のボランティアをされている方達の心っていうか、そういうのが見えた時にもう凄く嫌になるのですね。善行をしているのだけど、何かしてやっているみたいなの。だからその辺でちょっと中に入って行けないのですね、いつも。

【水源師】

そこが大問題なのです。つまりね、そのボランティアしている人達が、愛の心田を持っていけばそういう事ないわけです。ただ「私はこれ、これしたから当然お返しが来る」と。天の恵みか、ギブアンドテイクなるわけ。これはもうボランティアじゃないわけ。つまり心を磨いている場合には、心田を耕している場合には、皆が愛の心を作ろうとするからそういう事はありえないわけです。

と言う事はその愛の法を未だに明快に伝える人が、滅多に出て来ないと。口では言いますよ。「皆さんで助け合いましょう」と。で本当に何を助け合うかと。それは食料がなければ分けると。これは助けになりますね。また水がないと、飲めないと。今でも死にそうだと。そしたら水コップ一杯やるのは助ける事になりますね。それが社会体制のゆがみによって、いつまでもいつまでも「私は病人だから水くれ、水くれ」と動かなかつたらいい加減、嫌になりますね。何かが間違っているわけです。

ところが、こういう人にね、本当の愛の法を得たらね、「いや私もやらなければ。何時までもお世話になっていられない」と。特に一番良いのは、本当の正法に接した時にはもう「いやーこれは大変な事だから、いち早く皆さんにこの果物を分けなきゃいけない」と。もうそうしたらね、そのボランティア活動も何も、皆がそういう心になって行くものだから、皆がそういう明るい社会に向かおうとするでしょう？

実はそういう時代があったのです。戦後何もなくて皆が助け合わなきゃ生きて行けない。だから醤油がなければ隣に行けばすぐくれると。旅しても家がなければちょっと知り合いだったら「はい、泊まりなさい」と。今は何と「ホテルへ行きなさい」と（笑）。路上で寝ても「金がないのだから当然」とか。もう心のない、情のない社会になっている。情のない世界でいくら暖かい心でやっても、ザルに水を流すみたいなもので、殆ど無駄になります。

だからそういう時にね、あなたの得たこの法とかね、例えば浄土禅をしっかり教えた場合には、これが消滅してしまうわけ。浄土に行くのにね、人のお世話になって行けるわけないでしょう？で阿弥陀様を信じている人がね「助けてくれー、助けてくれー」と何時までも何時までも言ったら、阿弥陀様も「もういい加減にして頂戴」と。ところが、阿弥陀様の国に行くのに、一生懸命信心して人の為に尽くし、愛の心を大きくしたら「よしよし良い子だよ」って。で浄土禅をやれば、すぐに阿弥陀の現象が現れて、阿弥陀

陀の国に生まれるのは決定します。非常に簡単な事。

それでもダンマヌパッサナーの難しい法門、いらないでしょう？もう生まれればそこでやれば良いのだし。絶対間違いないし。でも、「阿弥陀の国があるかないか信じられない」という風な社会だから。完全に世の中が魔にやられてしまっているわけね。魔にやられていると言う事はね、あなた方は知らないでしょう？何でやられているかも分からないでしょう？どう言う風にやられているかも分からないでしょう？

1800年代にね、1840年だったかな？セント・テレジアという Carmelite (カーメライト：カルメル修道女会) の尼さんがいました。その人は、とっても明るい人で歌歌い、そしてどんなきつい仕事でもね、喜んでやっていたわけです。で、そういう方がね、結局人の為にくすという愛の心をドンドン大きくしていくわけですよね。でそれによって、沢山の奇跡を起こして。それでその奇跡によって救われるわけなのです、人が。つまり、本源は結局さっき言った様に、自分から進んで苦難の中で一生懸命やると。他の尼さん達は逆にいじめて一生懸命仕事を与えるわけです。その愛の世界の中で、逆に愛の反対の事をするわけ。若い尼さんだからいじめてね。でもそういう中でもこれは神から与えられた素晴らしい仕事だから、歌を歌いながらそうしてドンドン心臓が浄化していくわけです。

だからそう言う風に結局、何時までも何時までも「助けてくれー、助けてくれー」と。それでまた助けてあげればね、ある程度は良いけれども、逆に逆効果で。それよりもちゃんとしたセッティングしてやれば「こうすればこうなります」と。出来ない場合は、こうなると。昔はそういう社会システムがあったわけです。村人達が助け合って、そして家も建ててあげれば、そして病人の時は世話したわけです。でも、何時までも何時までもそれしたら、村人から怒られます。村から出される。という掟もあります。それで皆まじめにすれば、村が栄えるし、そういう風に怠け者をいっぱい出せば、その村は潰れてしまうわけです。

「悪魔が水瓶の中を走っている」

だからこの今のシステムはね、怠け者を助長したり、それからするべき事をしなくてもご褒美を貰えると言う事で、じゃあ、やり得という非常に愛のない世界になってしまった。と言うのは、一生懸命皆さんが働いて苦労した財産を奪っていると言う事です。それを結局、政府の機関とか公共機関が見なければいけないけど「これは駄目じゃないか」と言ったら文句つけられて、逆に首になるから皆黙っていると。何にもしなければ、恩給貰えて素晴らしい退職出来て、すれば罰せられるというシステム、非常におかしなシステムになっています。

つまり、何が良いか何が悪いか判断出来ない様に作られた社会体制なわけです。その為皆さんがね、激しく働くわけ。ハイウェイは沢山あるでしょう？で朝から晩までハイウェイ停滞でジーンと何時間も待ったり。これが仕事なわけです。何の効

果もない。公害を大きくする。でさっきの Carmelite (カルメル修道女会) のセント・テレジアさんがこう言いました。「悪魔が水瓶の周りを走っている」と。「ドンドンドンドン、ハイスピードで、動き回る」と。強烈な勢いで。現代はね、私達の時代は、馬車馬もあつたのです。今はね、100 キロ、120 キロのハイスピードでピューッと激しく動くでしょう？これを悪魔の仕業と言います。

で、皆さんはね「おお素晴らしい！新幹線」。それは素晴らしいですよ。でもこれは本当は、悪魔の技なわけなのです。これをセント・テレジアさんがちゃんとやったわけです。それはスピードが速ければ、便利だし私にとっては良いのだけれども。でも地球も駆け巡れてね、でも皆さんが出来るわけじゃないでしょう？時間に追われて、絞られて、足かせ。でその挙句の果て、一生グルグルグル、グルグルグル、グルグルグル、グルグルグル。でそのロングホリデー（長期休暇）になれば、朝から晩まで渋滞、渋滞で、「はあ〜」一息、帰るのもまた一生懸命渋滞で。と言う事をセント・テレジアさんが明快に 1840 年代の方だったかな？年代忘れたけど、明快に言っているわけなのです。

「悪魔は人を走らせる」と。「激しく早く走らせます」と。

だから宗教家はこれをちゃんと見抜いてね、これをストップさせなければいけないわけです。激しく勉強させると。学校に朝から晩まで本漬けにして。でも何か似ていませんか？ハイウェイと。で卒業した挙句の果て、ね、私も何年英語勉強したかな？I am a boy から初めて、カナダに行って、英語使えないわけですよ。で答案ゼロだったら、落第するしね。と言う事をやらせるわけ。で卒業してもうちゃんと合格点採って会社に入ったら、全部忘れて。ご破算に願ひまして。（笑）

それだったらね、遊ばせたら良いでしょう？それもね、ここの会社に入れば勲章付けて素晴らしいと。あれ全部嘘ですよ。T 大学出て、特進三級界やるけども、もう試験勉強に疲れて会社の中では何の成績も出ないから、そのうち窓際族になるわけです。結局、そういうハイウェイを一生懸命走ったから何かくれるだろうと、何か素晴らしい事が起こるだろうと。ところが現実としては、会社の中では、結局激しく走って一等賞でこれは素晴らしいのではないかと思ったけども、ただ走っただけで何も得ていなかったと言う。

結局この若い Carmelite の尼さんがね、明快に言った事が今現代起こっているわけです。だから速いスピードは良い事だと、これは悪魔のなす業で、特にウォールストリートはね、Hi-speed transaction (ハイスピード・トランザクション) と言ってね、コンピューター使って株を売り買いするわけ。一秒間に何万回と言う。ナノセカンドかミリセカンドで売り買いやるわけ。もうこれはね、人間が判断するじゃなく、もう完全に架空経済。だから今の現状を起こしているわけです。これを誰も止めない。政治家も言わない。で結果的に企業がこういう罠にはまって締め付けられて、四苦八苦しているわけです。で企業が四苦八苦するから社員いじめになるわけ（笑）。

で「ハイスピードは良い事だ」でこれやるわけです。Time is money! それがその根源でしょう？今私達の経済社会体制はこの商業ベースの根源でしょう？だからそういう事をわきまえて、速い事は良い事だという事を一步置いて、本当に良い事なのか。そ

れよりは一年に一週間でもこの瞑想の為の時間をとって「法に近づきたい」と言う事を願えば、必ずや天界が応援して、皆さんが今ここに集まった様な凄いご褒美が来ると思いますよ。

その証明として、私はこの経典の事を実行しただけなのです。私がやったわけじゃない。お釈迦様が教えた法を、ただあなたにご指導して、そしたらあなたが運転してあなたが成功したわけです。と言う栄光をお釈迦様から受け取ったのですよ。だから仏に帰依するという事はこれくらい凄い事なのです。

で、だから法を伝えると言う事が、本当に人の為、世の為になります。だからこういう法はちょっと難しいけども、阿弥陀様を心から信じてそしてチッタヌパッサナーの手法を使えば、一日たった五分か十五分でもう阿弥陀の国に行く事が決定されるわけ。だからあなたはこれを覚えたから、簡単に浄土禅もまた出来るわけです。と言う風に本当の意味で人を救う事が出来るわけです。無量永劫の時間帯をまたグルグルグル、グルグルグル、グルグルグル。生きては死んで、死んで生きて、生死を繰り返すわけ。であなたが得たこの法によって、あなたは「生死を越えた人」となるわけ。そう感じませんか？

【参加者】

まだ、感じますけど、まだ。

【水源師】

感じるでしょう？そのバイブレーションが。頭では分かんけど、バイブレーションはイエスって言っているでしょう？

【参加者】

はい。

【水源師】

そう、その事。ま、そう言う事で。Gさん、あなた香木お渡ししたでしょう？まだ持っていますか？

【参加者】

はい。持っています。

【水源師】

それをね、Mさんがどうしても必要な事項があるから、お渡し願えますか？またあなたに持って来ますから。

【参加者】

はい。もちろんです。

【水源師】

それで、今日の法話、また今日は一般的な法話でしたか？

【参加者】

いつもよりは飛んでいない感じがします。

【水源師】

あ、いつもよりは飛んでいなくて良かったですか。あー良かった、良かった。



水源禪師法話集 50

(2015年9月25日 京都合宿8日目)

2016年8月21日 発行

編集兼発行 一乗禪の会